

この章では、各種集計結果に基づき行われた授業開設各部門の分析・評価の概要を掲載する。

分析に使用する主なデータとして、各質問項目に対する回答の平均・標準偏差を部門別・形態別にまとめた「基礎集計表」、および「相関係数表」（ともに各部門の頁末に掲載）がある。「相関係数表」は、質問項目に対する回答の方向性の強弱を見ることができるもので、相関係数の絶対値が1に近いほど強い正負の相関を示し、0に近いほど相関が弱いことを示す。また、部門別、形態別、学年別、総履修者数別に集計された「基礎データクロス表」（第3章に掲載）がある。

なお、本文中、各質問項目を Q1、Q2、…、Q28 として引用する（第1章 アンケート票参照）。

※「3 この授業のレベルについて」と「4 この授業を進める速さについて」の2つの質問については、「適切である＝5ポイント、やや高すぎる・やや低すぎる／やや速すぎる・やや遅すぎる＝3ポイント、高すぎる・低すぎる／速すぎる・遅すぎる＝1ポイント」と換算して計算しています。

※例えば、「語学」科目であるにもかかわらず、「スポ健」科目に対する項目について回答されたといった、指定項目以外の回答については無効とし、それらを除外して集計しています。